



PRESS RELEASE

岡山大学記者クラブ

文部科学記者会

科学記者会

御中

令和 8 年 8 月 19 日

岡 山 大 学

大腸ポリープ内視鏡切除時の新たな視野確保法を検証 ～大腸ポリープの確実な切除に貢献し、大腸癌のリスク低減に～

◆発表のポイント

- ・内視鏡用視野確保ゲル（ビスコクリア®、大塚製薬工場）を用いた新しい視野確保法では、従来法と比較して、大腸ポリープの内視鏡切除時において、大腸ポリープと正常粘膜との境界をより明瞭に識別できることが明らかとなりました。
- ・今回の発見は、大腸ポリープの確実な切除に貢献する可能性があり、ひいては大腸癌の予防につながることを期待されます。

岡山大学病院消化器内科の豊澤惇希医員と学術研究院医療開発領域（岡山大学病院・消化器内科）の山崎泰史助教は、富士フイルム株式会社との共同研究で、内視鏡用視野確保ゲル（ビスコクリア®）を用いた新しい視野確保法（Gel immersion）で行う内視鏡切除では、従来の方法よりも大腸ポリープと正常大腸粘膜との境界がわかりやすくなることを証明しました。これらの研究成果は 2026 年 7 月 19 日、アジアの消化器病学雑誌「*Journal of Gastroenterology and Hepatology*」の Original article としてオンライン掲載されました。

大腸ポリープは大腸癌の原因となりますが、大腸ポリープの境界がわかりにくい場合は不完全な内視鏡切除につながることもあり、残存したポリープは将来的に大腸癌となるリスクがあります。

本研究成果により、Gel immersion を用いることで、大腸ポリープの境界がわかりやすくなり、大腸ポリープの不完全な切除を低減して確実な切除に貢献できる可能性が示されました。

◆研究者からのひとこと

内視鏡用視野確保ゲル（ビスコクリア®）を用いた Gel immersion では大腸ポリープが非常に見やすくなります。簡便な手法です。特に洗腸¹⁾が不十分な場合でも大腸ポリープの境界が見やすく、確実なポリープの切除につながります。



豊澤医員・山崎助教

PRESS RELEASE

■発表内容

<現状>

大腸ポリープは大腸癌の原因であり、大腸ポリープを確実に内視鏡切除することで大腸癌の発生を低下させることができます。しかし、大腸ポリープと正常粘膜の境界がわかりにくい場合、特に、洗腸が不十分な場合は、大腸ポリープの境界がわかりづらく、切除が不完全になることがあります。

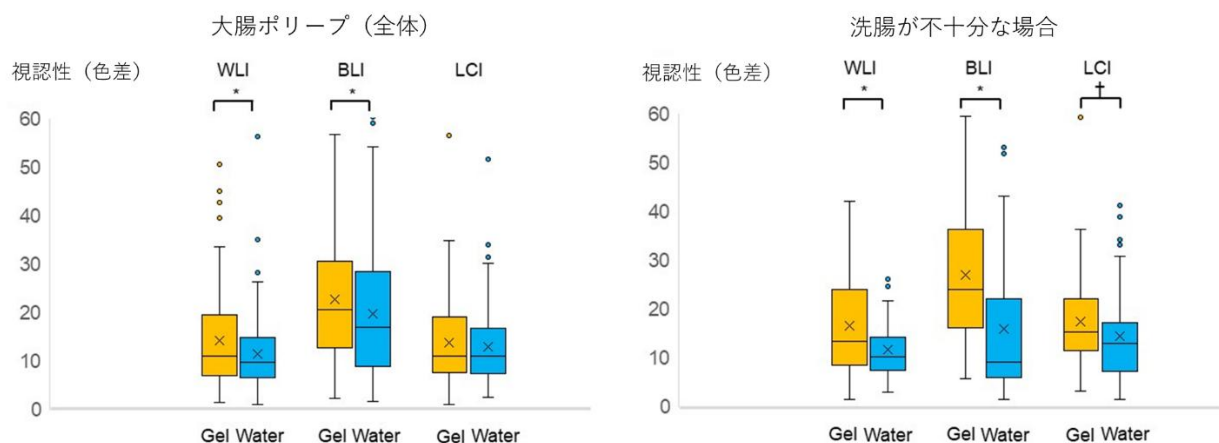
本研究では、内視鏡用視野確保ゲル（ビスコクリア®）を用いた新しい視野確保法（Gel immersion）による内視鏡切除法を提案しました。本法は、大腸ポリープの境界を見やすくし、より確実な内視鏡切除につながる可能性があります。

<研究成果の内容>

本研究は、岡山大学病院単独で実施された前向きランダム化比較研究であり、Gel immersion が、従来の方法（Water immersion）よりも大腸ポリープの視認性²⁾を向上させることを明らかにしました。視認性は白色光観察（WLI）³⁾、BLI 観察⁴⁾、LCI 観察⁵⁾という3つの内視鏡観察モードで評価しています。

Gel immersion では Water immersion と比較して、大腸ポリープの視認性が有意に向上しました。特に洗腸が不十分な場合では、白色光観察、BLI 観察において、Gel immersion での大腸ポリープの視認性が顕著に向上しました（白色光観察 Gel immersion > Water immersion, $p=0.03$, BLI 観察 Gel immersion > Water immersion, $p<0.01$, LCI 観察 Gel immersion > Water immersion, $p\geq 0.09$, 添付の図）。

この結果により、Gel immersion を用いることで大腸ポリープと正常粘膜の境界がわかりやすくなることが証明され、特に洗腸が不十分な場合にその効果が大きいことが示されました。



<社会的な意義>

本研究成果は、大腸ポリープの不完全な切除の予防につながる可能性があります。特に、洗腸が不十分な場合は、大腸ポリープの境界がわかりにくい場合があります、ポリープの不完全な切除が起こり得ます。不完全な切除では、大腸ポリープが一部残ってしまう可能性があります、残ったポリープからは将来的に大腸癌が発生してしまうリスクがあります。大腸ポリープの境界を十分に認識した上で内視鏡切除を行うことにより、確実な内視鏡切除が可能となり、将来の大腸癌の発生を低下させることにつながります。



PRESS RELEASE

■論文情報

論文名 : Gel Immersion Improves Visualization in Underwater Endoscopic Mucosal Resection for Colorectal Lesions: A Prospective Crossover Trial

掲載誌 : *Journal of Gastroenterology and Hepatology*

著者 : Junki Toyosawa, Yasushi Yamasaki, Motoyuki Otsuka 他

DOI : 10.1111/jgh.70568

■研究資金

本研究は、富士フイルム株式会社からの資金提供および機材付与を受けて実施されました。

■補足・用語説明

1) 洗腸

大腸内視鏡検査（大腸カメラ）の前に下剤を服用して便を出し、大腸の中をきれいにしておくこと。

2) 大腸ポリープの視認性

大腸ポリープと周囲の正常粘膜との境界の見えやすさのこと。視認性が良いとポリープが切除しやすく、不完全な切除につながりにくい。

3) 白色光観察

内視鏡の先端から白色光と呼ばれる通常の照明光で大腸ポリープを観察する方法。この観察方法では、肉眼と同様の自然な色で描出される。

4) BLI 観察

青色系の特殊な光を使って大腸ポリープを観察する方法。血管や表面の細かな模様が強調され、ポリープの特徴をより詳しく確認できる。

5) LCI 観察

特殊な光で赤色を強調する観察方法。大腸ポリープと周囲の粘膜の色の違いがわかりやすくなり、ポリープを見つけやすくする。

<お問い合わせ>

学術研究院医療開発領域（岡山大学病院 消化器内科）

助教 山崎 泰史

（電話番号）086-235-7218 （FAX）086-225-5991



岡山大学は持続可能な開発目標（SDGs）を支援しています。